

令和4年度 第3回 奈良県公共事業評価監視委員会 議事録

1. 日時 令和4年12月26日(月) 10:00~12:00
2. WEB会議
3. 出席者(敬称略、五十音順)
 - ・ 委員長 多々納 裕一
 - ・ 委員
大庭 哲治、下村 由加里、中西 麻美、西川 恵造、福井 麻起子、松野 裕、横山 直子
 - ・ 奈良県 県土マネジメント部企画管理室、技術管理課、道路建設課、食と農の振興部農村振興課

4. 議事

(1) 農業農村事業：北村地区

1) 再評価に関する説明(農村振興課)

2) 意見

(中西委員)

便益の計算は、マニュアルに従って40年間で計算されていますが、年齢構成をみますと、40年間において維持されるかは未知です。10年後や20年後に、この地区がどのようなになっているのか想定がありますか。

(農村振興課)

子供世代へ引き継いでいくことや、奈良県としても新規の就農者を斡旋していく形で進めていきますが、基盤整備により、効率的な営農ができる環境を整えていく必要があります。

(中西委員)

しんどい状況であれば、新たな担い手も出てきませんので、いい状況になれば次の世代が入っていく可能性も出てくるのは理解します。

(西川委員)

卵が先か、鶏が先かのような問題だと思いますが、北村地区の高齢化は進んでいると聞いております。これからの見通しには懸念があるのですが、高収益な作物ができることで地元に戻ってくる人もでてくる可能性があります。いい循環となるように、地元の方と共に頑張ってくださいと思います。

(多々納委員長)

その後の状況が気になる事業もありますので、事後評価等の制度について事務局で検討をお願いしたいです。

(事務局)

ご意見について検討して参ります。

(多々納委員長)

本件については、少し懸念はございますが、説明を頂いた範囲で適正であると判断したいと思いますが、どうでしょうか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。

(2) 農業農村事業：葛城山麓地区

1) 再評価に関する説明（農村振興課）

2) 意見

(横山委員)

(試算による総便益の算定について) 単純に40をかけた計算になっていませんか。

(農村振興課)

社会的割引率を考慮して計算しております。

(横山委員)

試算の確率とはどのようなものですか。

(農村振興課)

当初の堤防の高さが、何年確率の雨に対応できるかを2年確率から試行錯誤しております。順に雨をきつくしていき、ため池の堤防高を超える確率になります。

(多々納委員長)

被害の発生確率が、例えば5年確率の雨でどれだけの被害が出て、20年確率の雨でとそれぞれについて、どんな被害が出るかを計算します。それから期待値を出して、その期待値の整備前後での差が算出されるべきと考えます。

ただ、5年確率の雨でも決壊する堤防が2つありますが、200年確率で発生する現象の被害となるとは言えませんので、被害額が大きめに出ている可能性はあると思われれます。通常は破堤の被害は破滅的なものになりますから、被害額がそれほど大きく変わることはないと考えられます。そういう理解でしょうか。

(農村振興課)

はい。

(多々納委員長)

そういう想定で計算されたということで、一定の合理性があると思います。今後、この種の事業があった場合にはもっと正確かつ詳細にやればできるとは思いますが、少なくともこれぐらいの確認をして頂きたいです。

(松野委員)

こういうやり方で問題ありません。発生確率がため池ごとに違うことが理解しづらかったですが、議論を聞き、わかりました。

(多々納委員長)

ため池ごとに現状の整備状況は違いますので、妥当だと思います。結果として5年確率のため池がありますので、その他のため池でも同様の状況にないか洗い出して頂きたいです。

本件について適切に説明を頂けたということで、継続でお願いしたいと思います。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。

(3) 道路事業：一般国道168号 阪本工区

1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

2) 意見

(多々納委員長)

総便益及び計画交通量の変化について報告ください。

(道路建設課)

マニュアル等の改定もあり、総便益が83.5億円から89.2億円に増加しています。また、計画交通量については3,900台から3,500台に減少しております。

(多々納委員長)

総便益等の変化が分かるように、資料の修正をお願いできますか。また、道路事業については他の事業についても同様に修正すること。

(道路建設課)

資料を修正します。

(大庭委員)

費用便益分析の結果、B/Cは1.01でぎりぎりになっていますが、残り10%の事業費が増加する見込みがないのか改めて確認したいです。

(道路建設課)

トンネル掘削が終わりましたので、大きく増える要因はもうないと考えております。

(多々納委員長)

全体事業の費用便益比が1を下回ったとしても、それほど気にする必要はないと考えます。

当初から綿密な計画ができたか反省すべきところはありますが、事業継続の観点からしますと、残事業だけ見ればB/Cが十分ありますから、追加的に投資しても完成させるべき事業ということは明らかだと思います。

将来交通量などの数字が出ていないことで決定を保留したわけですが、本事業に関しては事業継続としてよろしいですか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること(総便益及び計画交通量の変化を記載)。

(4) 道路事業：一般国道169号 御所高取バイパス

1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 意見

(多々納委員長)

前回評価時から何をされたのでしょうか。

(道路建設課)

測量業務や設計業務等です。

(多々納委員長)

事業がそこまで進んでいないですが、何か理由はありますか。5年間でこの進捗は標準的な進め方ですか。

(道路建設課)

特に遅いとは考えていません。

(多々納委員長)

その進捗状況では10年はかかるのではないのでしょうか。

(道路建設課)

来年度から用地買収を始めますので、進捗は早まると考えています。

(多々納委員長)

費用増加の懸念はどうですか。

(道路建設課)

このバイパスについては、トンネルといった大型構造物がありませんので、大きな増額はないと考えています。

(横山委員)

進捗が遅い点が気になります。

(下村委員)

増額となった場合の影響を心配しておりますが、高取バイパスと相互に繋がることで効果が発現されるため、すごく重要な事業だと認識しています。また、用地買収の進捗の見込みがあれば追加で説明をお願いしたいです。

(道路建設課)

現時点で数字を持ち合わせていませんが、買収を進めていきます。

(多々納委員長)

用地買収に向けて、課題があるかを補足ください。

(道路建設課)

用地買収に向けての課題は出てきておりません。

(多々納委員長)

地下埋設物や埋蔵文化財などの課題はありませんか。また、工場など難航しそうな案件などの課題もないのでしょうか。後ほど補足ください。

(多々納委員長)

補足説明を後ほど受ける必要はありますが、基本的に効果的と判断でき、事業継続が妥当と考えますが、よろしいですか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、進捗率に関する補足説明を後ほどお願いします。

なお、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(5) 道路事業：一般国道169号 高取バイパス

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

(下村委員)

事業費の追加が大きいと感じておりますが、本事業は御所高取バイパスと連携して効果のある事業ですので、全体のスケールメリットがあるのではないのでしょうか。

(多々納委員長)

一連の評価をしない場合も効果はでないといけませんが、国では一体評価をやっています。国では事業評価の方針として、そういう様な変化も見られることから、次年度以降はその辺りを含めて考えて頂きたいです。

(道路建設課)

いただいたご意見を参考とさせていただきます。

(大庭委員)

事業費の増額に関して、複数の工法があった場合に、工法選定の理由について教えてほしいです。

(道路建設課)

一番経済的かつ効果的なものを選択しております。

(大庭委員)

次回以降は、工法選定における判断などを説明していただきたいです。

(多々納委員長)

大庭委員の意見については今後検討すること、として頂きたいです。

地質等の変更に伴って事業費が増額となるのが非常に多いですが、当初の事業費の元となる単価についても、過去のデータの蓄積によって、改められるべきではないでしょうか。真摯に意見を受け取っていただいて、改善方法について考えて頂きたいです。そのことが、事業採択時などには適切な評価になると考えます。

将来交通量などの数字が出ていないことで決定を保留したわけですが、本事業に関しては事業継続としてよろしいですか。

また、御所高取バイパスは4車線の整備で、高取バイパスは暫定2車線による整備となっており、こちらのみ暫定の整備でよいのでしょうか。

(道路建設課)

高取バイパスはトンネルなどの大型構造物があり、整備に時間がかかるということで暫定2車線での整備としております。

(多々納委員長)

暫定2車線ということは将来4車線の用地買収はしているのでしょうか。

(道路建設課)

一部未買収のところがありますが、4車線で買収をしています。

(多々納委員長)

車線数が変わる場所がボトルネックとならないのか懸念します。先ほどの一体評価も議論もありますので、そういう視点でも説明を頂きけるようなことを今後考えて頂けるとありがたい。

それでは本件は以上として、事業継続と判断します。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること(総便益及び計画交通量の変化を記載)。

(6) 道路事業：主要地方道桜井吉野線 百市工区

1) 再評価に関する説明(道路建設課)

2) 意見

(多々納委員長)

追加されたポンチ絵については、事業計画のところにあってしかるべきです。他の事業も含め

て、トンネルなどの大型構造物がわかるようにして頂きたいです。今後は気をつけて頂きたいです。

(道路建設課)

わかりました。

(多々納委員長)

将来交通量はなぜ微増するのでしょうか。

(道路建設課)

平成 22 年の道路交通センサスが多かったため、将来交通量は増加するという推計です。

(多々納委員長)

道路交通ネットワークが改善するなどして、このルートの需要が潜在的に喚起されるなど、ネットワークで説明できるのではありませんか。

(道路建設課)

回答を用意できておりません。

(多々納委員長)

すぐに準備できないと思いますが、今みたいな議論があった際に説明できるように用意しておいてください。

計算結果に一部不明な点がありますが、事業継続と判断してよろしいでしょうか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(7) 道路事業：主要地方道枚方大和郡山線 中町工区

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

(松野委員)

コスト縮減については削減額が不明ですが、見込みがあるのでしょうか。

(道路建設課)

擁壁のプレキャスト化では2,000万円程度と見込んでおります。

(多々納委員長)

他府県の事例では削減額も記載があるかと思いますが、何か考えはありますか。

(道路建設課)

今後は、記載するように考えていきます。

(多々納委員長)

それでは事業継続として進めてよろしいですか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(8) 道路事業：一般県道椿井王寺線 椿井～三室工区

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

(多々納委員長)

事業進捗率が極めて高いですが、幾つかの区間は供用可能な状況となっていますか。

(道路建設課)

北側と南側で買収できていないところがあり、そこだけ広げると危険な状況となるため、買収を進めながら事業を進めていきたいと考えております。

(多々納委員長)

事業進捗の見込みに問題はないのですか。

(道路建設課)

特に大きな問題はありません。

(多々納委員長)

補償費での4億円の増額とは具体的にどういうことでしょうか。

(道路建設課)

補償調査の結果、想定よりも費用が増加したためです。

(多々納委員長)

本事業は事業評価をはじめて 20 年近くになりますので、ぜひ進めていただいて渋滞解消に効果があるようにして頂きたいと思います。

では、本件は事業継続で進めてよろしいですか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(9) 道路事業：一般国道 168 号 新天辻工区

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

(松野委員)

工事により濁水が起こった場合にはどうされるのでしょうか。

(道路建設課)

もし濁水が起きた場合には、対策で濁水が収まるのであれば対策工事や、地元で補償する形や代替施設を作るなどの方法が考えられます。

(多々納委員長)

水文調査に 5 億円もかかるのでしょうか。

(中西委員)

研究にて調査する場合がありますが、これほどの費用がかかるようには思えません。範囲が広いとか、ボーリングするなどあるのでしょうか。

(道路建設課)

範囲も広く、10 年以上かかる工事になりますので、この間、調査も継続して観測する必要があるためです。

(中西委員)

調査費用については精査ができるのではないのでしょうか。

(道路建設課)

猛禽類の調査も含んでおります。

(多々納委員長)

調査費用の金額と、渇水した場合の恒久的対策がどのくらいの費用負担になるのか把握しておくべきかと思いますが、見込みはあるのでしょうか。

(道路建設課)

渇水の影響がでた場合の増加費用については精査できておりません。

(多々納委員長)

影響がでない施工方法は考えておられると思いますが、その見込みが大きいですと、効果よりも費用が高くなる場合もあるのではないのでしょうか。再評価の議論にも影響がでるのではありませんか。

(道路建設課)

五條新宮道路として国とも連携して整備を行っており、この工区だけ出来ないと言影響が大きいです。全体で考えていく必要もあります。

(多々納委員長)

全体で評価をするのはやられたらいいですが、このような費用増加の見込みの議論や地元協議等の見込みなどは明確に説明すべきです。説明の中で環境影響評価の実施もありましたので、その懸念点についても補足説明をお願いします。

それをお願いして、そのことも含めて仮に一定の費用増加が見込まれたとしても、この事業の効率性はそれなりの妥当性がありますと、判断できると考えます。感度分析など説明をお願いしたいと思います。

その資料が提出され、その確認をした上で最終的に判断しますが、事業継続を覆すものだとは思いませんので、事業継続を妥当と判断してよろしいでしょうか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、追加資料の提出を求めます。

なお、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(10) 道路事業：一般国道369号 大保道路

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

（下村委員）

前回の委員会の質問については満足できますが、他の案件で議論にあがっている内容が気になります。

（多々納委員長）

他の案件でもありましたが、計画交通量が減っている場合で、便益が増加する結果がありましたので、本質疑については最後にまとめて回答ください。

本事業については、今後の事業費が増加の見込みはないですか。

（道路建設課）

現時点ではございません。

（多々納委員長）

事業継続ということで認めたいと思いますが、よろしいですか。

（各委員）

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。ただし、資料は修正すること（総便益及び計画交通量の変化を記載）。

(11) 道路事業：主要地方道大阪生駒線 辻町インターチェンジ

1) 再評価に関する説明（道路建設課）

2) 意見

（多々納委員長）

確認ですが、令和2年度の公共事業評価監視委員会に諮られているのでしょうか。

（道路建設課）

1年間の審議保留を頂きましたが、令和3年度には地元調整が整わなかったため、再度伸ばさせて頂きました。

（多々納委員長）

委員会にて報告するように決めたにも関わらず報告できなかった状態と考えます。今後は簡単

な経緯でよいですので、説明して頂くようにお願いします。

また、今年の11月に、地元に変更案を説明されて問題なかったということですか。

(道路建設課)

地元の方に、昨年度から今年度にかけて、特に今年度の10月から11月にかけて、地権者と自治会等にも再度説明させてもらい、事業協力をいただけることを確認できております。

(多々納委員長)

今後の進め方は決まっていますか。

(道路建設課)

ボーリング調査に着手できておりませんので、来年度早々に詳細設計に向けて、調査測量等を実施していきたいと考えております。

(多々納委員長)

ご説明の範囲内で、事業を継続としてさせていただいてよろしいですか。また、令和4年度に再評価しているため、次回の評価は5年後に事業が完了していなければ諮問いただくこととしたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

事業継続を妥当とします。

(1 2) 道路事業：主要地方道桜井都祁線 白河バイパス

1) 新規事業評価に関する説明 (道路建設課)

2) 意見

(多々納委員長)

本件は再評価ではなくて、新規事業評価であるから事業の必要性っていうのは明確にこの段階で定義されなければならない。そこで挙げられているのは交通安全と地域産業振興と観光振興と救命救急活動なのですね。言い方を変えたら、渋滞解消等はいらない。基本的にそういう理解でいいですね。

(道路建設課)

はい。

(横山委員)

この事業は、参道モール化の話があったから出てきたのか。モール化ができる話と、道路ができるタイミングとかその辺あたりはどうなっているか教えていただけますか。

(道路建設課)

モール化に関しましては、通過交通を排除しないとできないというところがありますので、まちづくりと一体となった整備と考えております。

(横山委員)

モール化も並行して一緒に話されているってことなのですね。

(道路建設課)

そうです。

(多々納委員長)

トンネルが極めて主要な構造物になるようだけでも、ここでの支保工のパターンはどんなものを想定されていますか。

(道路建設課)

詳細な調査等がこれからなりますので、基本的には支保パターンというところまではまだ検討まで至っておりません。現地踏査も行い、これまでの実績等に基づきまして、概算事業費で算出しております。

(多々納委員長)

今までそれがどうも当たらないからどうこうって言っているけど、今回はそういうところはちゃんと見込んでであると理解していいですか。

(道路建設課)

はい。あらかじめ踏査して、断層など危険性あるところを回避したルートを考えております。実際ボーリング調査しなければわからないところがあると思いますが、危険性があるところは極力避けた形でのルートとしております。

(多々納委員長)

標準的な支保パターンと、費用の高い一番安全な支保パターンの平均値として、概算事業費に反映してもらっているって理解でいいですか。

(道路建設課)

その通りです。

(下村委員)

できるだけ地元のことを考えて、事業をされているなと思います。この近辺は、これからの開発とかですごく影響の出るところかなとも思いますので、建設的に取り組んでいただけることを期待いたします。

(多々納委員長)

それではご意見、特にこれ以上ないようですので、ご提案いただきました第1案を、新規採択の案として考えて、本事業を新規事業として進めていただいたら良いということで、事業化が妥当だという判断をしたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(各委員)

－異論無し－

3) 意見集約

新規事業化を妥当とします。

(13) 補足説明

(道路建設課)

便益について補足します。マニュアルが更新されることで、原単位が更新されました。原単位は前のマニュアルから約1割から2割程度が増加しております。

(多々納委員長)

ありがとうございます。こういう資料は事前に準備してください。